



令和元年 9月2日 編集・発行 東大淀小学校 中北好美

防災は、基礎基本+イレギュラーへの対応♡

9月1日は「防災の日」。1923年9月1日に関東大震災が起こったこと、8月31日～9月1日は、台風の襲来が多い二百十日にあたることから、「災害への備えを怠らないように」との戒めも込めて1960年に制定されました。前年の1959年9月26日には「伊勢湾台風」も起こっています。

防災で重要なのは、基礎基本とイレギュラーへの対応だと言われています。本校でも、次の2点を中心に、防災教育に取り組んでいます。

①いろいろな想定で避難訓練を行い、防災の基礎基本を身につける。

②防災学習で、正しい知識や一人ひとりが自分で考えて行動する力を身につける。

年間を通して行う①の1つとして、東大淀町会の協力を得ながら、9月18日に下校時の避難訓練を行います。②については、4年生を拠点学年とし、三重県教育委員会や防災コーディネーターの向井芳夫さん(教育支援ボランティア)を講師に迎えて、総合的な学習の中で子どもたちが探究的・継続的に学習していきます。

正解はない♡話し合うことが考えて行動する力に！



向井さんから、マップ作りや防災訓練など東大淀地域の防災活動について教えてもらうとともに、災害が起きたときの行動のしかたについて、グループで話し合うワークショップを行いました。問題は①下校中に大地震が起こった。学校に戻るか(YES)家に帰るか(NO)。②家にいるときに大地震が起こった。家の中に戻るか(YES)避難所に行くか(NO)の2つです。実はこれには、正解はありません。それぞれが自分の知識や経験をもとに、理由を述べながら話し合うことで、災害が起こったとき、自分で考えて行動できる力を

つけることがねらいです。子どもたちからは、「まず自分の命を守る。」「いざというときのために、普段から話し合っておきたい。」などの感想が出ました。



住みよいまちづくりのために、できること♡

だれもが住みやすいまちづくりに小中学生の意見を活かそうと、今年も伊勢市子ども未来会議が開催されました。



街灯をつけてほしいとの意見が出る一方、稲の生育に影響が出ることも指摘され、子どもたちは、ものごとを多面的に考えることの大切さにも気づいたようでした。

本校からは児童会の2名が参加し、桜浜中校区の他校の代表とともに、校区の危険箇所や住みよいまちづくりについて熱心に話し合いました。特に東大淀地区では国道への道が暗いので



「もんちゃんの1日」をまるごと体験・取材！ 夏休み新聞教室



利用者さんに大きな声でインタビュー！

夏休み新聞教室に3～6年生の9名が参加。東大淀宅老所「もんちゃん」を訪問して、利用者さんが来てから帰るまでの1日の活動を自分たちも体験しながら取材しました。相手の生の声や具体的な経験を引き出すために、予定した質問だけでなく、補助質問や聞き返しもしながらインタビューしていました。



～行事予定～

- 9月 2日(月) 夏休み明け集会 11:15下校
- 3日(火) 平常日課・給食開始
- 4日(水) いねかり・5年
- 5日(木) 修学旅行保護者説明会
- 7日(土)～8日(日) 伊勢市科学創作展
- 9日(月) PTA登校指導
- 11日(水) PTA委員会
- 13日(金) スクールカウンセラー来校
- 18日(水) 地震体験車来校(防災学習)
下校時の避難訓練
星空のくすのき学習
予備日 20日(金)
- 21日(土) 土曜授業・芸術鑑賞会

夏休み新聞教室で取材・発行

「大好き♡くすのきさん」新聞

夏休み新聞教室に参加した9名が、「もんちゃんの1日」をテーマに体験取材したことを記事に書き、「大好き♡くすのきさん」新聞第1号が完成しました。いつ・どこで・だれが(なにが)・どのように、など5W1Hを意識したり、先に概要を書き次にくわしく書いていくという新聞独特の書き方にチャレンジしたりして、わかりやすく伝えることをめざしました。9月3日発行です。